

Solase 単細胞消化液

取扱説明書

一、製品概要

Solaseは、穏やかに作用する単細胞消化液であり、プロテアーゼとコラゲナーゼ活性を有しています。これにより、細胞の生存率と接着効率を向上させ、消化後の細胞は良好な表面抗原を保持します。この消化液は、トリプシンやAccutaseの代替として様々な組織や細胞の消化に使用できます。哺乳類や細菌由来の成分を一切含まないため、細胞培養関連の実験に直接使用できます。

二、製品情報

表 1 : Solase 単細胞消化液製品詳細

製品情報	品番	規格	保存条件
Solase細胞消化液	RP01021	100ml	-20℃で2年間、4℃で2ヶ月間保存

三、使用説明

(一) Solase 単細胞消化液の解凍

1. 解凍：4℃で一晩解凍するか、または室温（15～25℃）で解凍します。37℃で解凍しないでください。解凍後はよく混ぜ合わせてください。

TIPS：解凍後、必要に応じて分注保存可能です。

2. 解凍後は4℃で2ヶ月間保存可能です。長期保存の場合は-20℃で2年間保存可能です。

表 2 : 培養容器別の Solase推奨使用量

容器	ウェル面積	使用量
6ウェルプレート	10 cm ² /ウェル	1.0 mL /ウェル
12ウェルプレート	5 cm ² /ウェル	0.5 mL /ウェル
60-mmディッシュ	20 cm ²	2.0 mL
100-mmディッシュ	60 cm ²	6.0 mL
T-25フラスコ	25 cm ²	2.5 mL
T-75フラスコ	75 cm ²	7.5 mL

(二) 単細胞の消化 (6ウェルプレートを用いたhiPSC消化の例)

1. 細胞が約85%コンフルエンスに達した時点で消化を開始します。DPBS (Ca²⁺・Mg²⁺不含) を2 mL/ウェル添加し、消化対象の細胞を1回洗浄します。
2. 表2を参照し、Solase消化液を1 mL/ウェル添加し、37℃インキュベーターで5~8分間インキュベートします。

TIPS: 1、培養プレートはインキュベーターの金属仕切り板に直接接触させ、均一に加熱されるようにします。積み重ねはしないでください。

2、Solaseによる消化時間は、hiPSCの培養基質 (Matrigel/VTN) や細胞状態によって異なります。軽くプレートを叩く時に細胞が完全に基質から剥離することを基準とします。

3、細胞株によって消化時間は異なります。実態に応じて消化時間を調整可能です。細胞が完全に基質から剥離することを基準とします。

3. 消化後、DMEM/F12培地を2 mL/ウェル添加して細胞を再懸濁し、200×gで5分間遠心します。
4. 遠心後、直ちに細胞数計測または継代を行なうことが可能です。

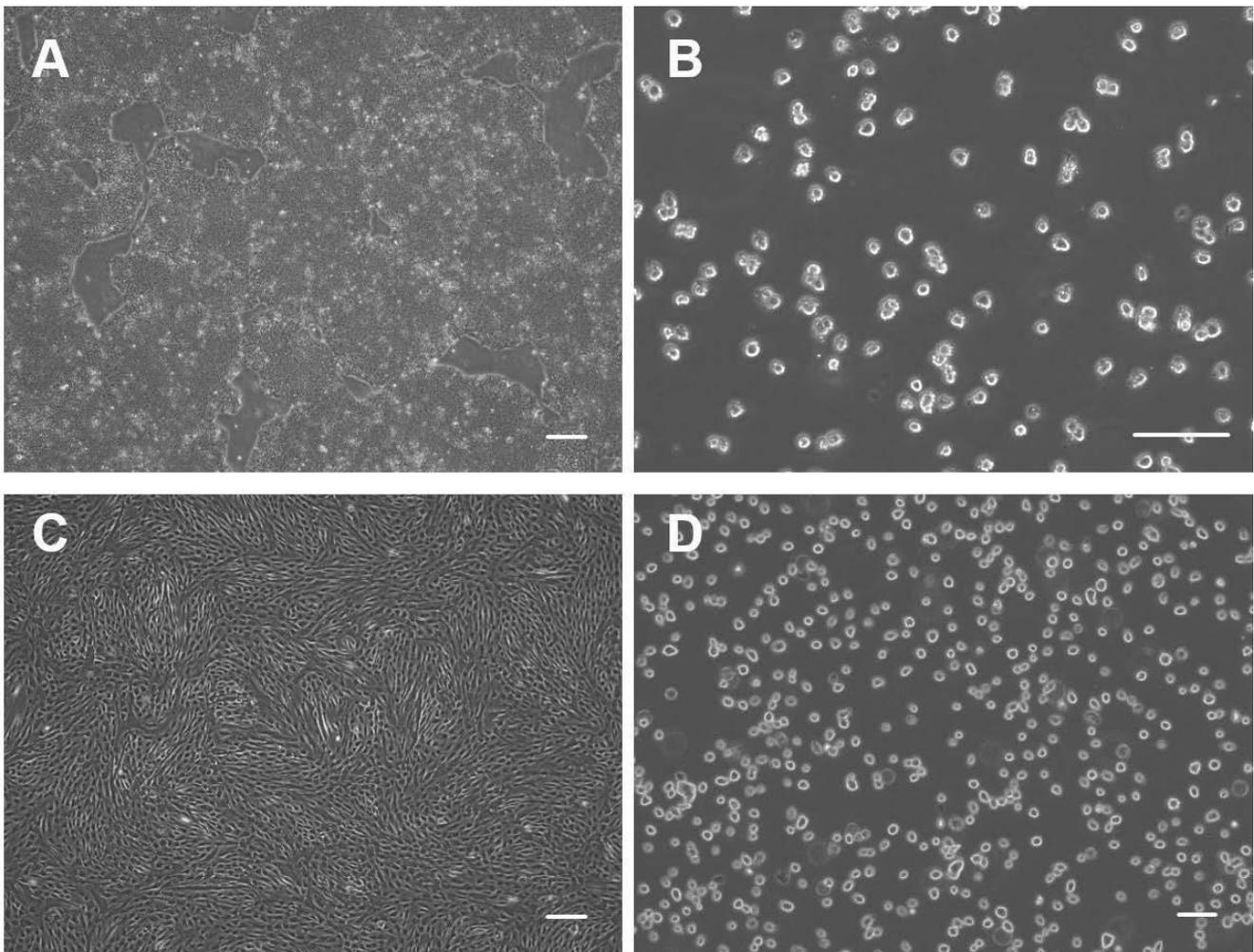


図 1 : hiPSC (A) 消化5分後、細胞が基質から完全剥離し、単細胞状態になった (B)。

hMSC (C) 消化5分後、細胞が完全浮遊し、単細胞状態になった (D)。スケールバー : 200 μm